

特定溶剤対策

特定溶剤用手袋 H203シリーズ

シリコーンの特定溶剤への耐溶剤性機能を活かした溶剤用手袋です。
溶剤の種類については別表を参照ください。

商品名	特徴
H203	膜厚0.75mmのタイプです。



H203

品名	サイズ別全長(cm)						色	表面加工	裏地素材	インナー素材
	S	M	L	LL	Lw	3L				
H203	30	30	30	30	-	-	半透明	撥水	-	-

EA品番：EA354DD-41…Mサイズ
EA354DD-42…Lサイズ
EA354DD-42B…LLサイズ

特定溶剤用裏地付手袋 H201

シリコーンの特定溶剤への耐溶剤性能を活かした溶剤用手袋です。
裏地付で、膜厚1.15mmのタイプです。
溶剤の種類については別表を参照ください。

品名	サイズ別全長(cm)						色	表面加工	裏地素材	インナー素材
	S	M	L	LL	Lw	3L				
H201	-	-	33	-	-	-	白	撥水	化学繊維	-



H201

EA品番：EA354DD-43…Lサイズ

特定溶剤用薄手手袋 H202

シリコーンの特定溶剤への耐溶剤性能を活かした溶剤用手袋です。
膜厚0.35mmの薄手タイプです。
溶剤の種類については別表を参照ください。

品名	サイズ別全長(cm)						色	表面加工	裏地素材	インナー素材
	S	M	L	LL	Lw	3L				
H202	30	30	30	-	-	-	半透明	撥水	-	-



H202

EA品番：EA354DD-46…Mサイズ
EA354DD-47…Lサイズ

面積膨潤倍率表

■面積膨潤倍率について

手袋の表面を形成している樹脂の「皮膜」を溶剤の中に30分間浸漬した時、その表面積が元の大きさに対して何倍になったかを示す数値です。

「1.0」に近い程、溶剤性能に優れている傾向があります。

しかし「皮膜」だけの比較のため「裏地付」の手袋の方が裏地で膨潤を抑制する分、数値が高くても使用可と表示しています。

下表 可、少し注意 の手袋をお勧めします。

■手袋選定基準の目安

裏地の有無	製品・シリーズ名	可	少し注意	十分注意	不可
裏地なし	H202、H203	1.2以下	1.3以上 1.6以下	1.7以上 2.9以下	/
裏地あり	H201	1.3以下	1.4以上 1.9以下	2.0以上 2.9以下	/

■面積膨潤倍率表 単位：倍（浸漬前「1.0」）

CAS No.	溶剤名	裏地あり	裏地無し
		H201	H202 H203
8006-64-2	テレピン油	2.3	2.3
8030-30-6	石油ベンジン	2.5	2.5
8006-61-9	ガソリン	2.4	2.4
110-54-3	n-ヘキサン	2.5	2.5
108-88-3	トルエン	2.3	2.3
95-47-6	キシレン	2.1	2.1
71-43-2	ベンゼン	2.0	2.0
56-23-5	四塩化炭素	2.5	2.5
71-55-6	1,1,1-トリクロロエタン	2.4	2.4
540-59-0	1,2-ジクロロエチレン	2.4	2.4
79-01-6	トリクロロエチレン	2.4	2.4
127-18-4	テトラクロロエチレン	2.2	2.2
75-09-2	シクロロメタン	2.0	2.0
67-66-3	クロロホルム	2.4	2.4
67-56-1	メタノール	1.0	1.0
67-63-0	イソプロピルアルコール	1.2	1.2
60-29-7	エチルエーテル	2.6	2.6
67-64-1	アセトン	1.2	1.2
78-93-3	メチルエチルケトン	1.6	1.6
108-10-1	メチルイソブチルケトン	1.9	1.9
108-94-1	シクロヘキサノン	1.2	1.2
79-20-9	酢酸メチル	1.4	1.4
141-78-6	酢酸エチル	1.8	1.8
123-86-4	酢酸ブチル	2.0	2.0
109-86-4	メチルセロソルブ	1.1	1.1
110-80-5	エチルセロソルブ	1.0	1.0
75-15-0	二硫化炭素	1.5	1.5
75-05-8	アセトニトリル	1.0	1.0
109-89-7	ジエチルアミン	2.9	2.9
98-95-3	ニトロベンゼン	1.0	1.0
109-99-9	テトラヒドロフラン	2.3	2.3
68-12-2	ジメチルホルムアミド	1.0	1.0
872-50-4	N-メチルピロリドン	1.0	1.0

※CAS No.：米国化学会の一部であるCAS（Chemical Abstracts Service）が運営・管理する化学物質登録システムから付与される化学物質に固有の数値識別番号のこと。

※手袋が溶剤を吸って膨らんだ場合は使用を中止して、元の大きさに戻ってから再使用してください。

膨れたまま作業を続けると切れやすくなります。

※溶剤は皮膚から浸入しやすく危険ですのでご注意ください。

※表にない溶剤は当社にお問い合わせ下さい。